

嵐の断章

嵐の中、都会は海と親しく
吹き荒ぶ風に怒涛を見
吹きつける雨に波しぶきを感じ
水が我等をなめつくし
風が我等を吹き倒す

私の血塗れの枯茎もなぎ倒し
血もろとも捕え、流し去る
最も安らかなる都会の夜・・・嵐の夜

(1982.9.12)